



スバイリエン州病院研修部がいよいよ始動

スバイリエン州病院は、JICAの無償資金協力により新棟が建設され、様々な医療機材が供与されました。これによって病院の機能が拡張されたことに伴い、スバイリエン州病院は病院長の掛け声の下、研修部（Training Unit）を立ち上げました。プロジェクトでは活動の一つとして、スバイリエン州病院研修部の立ち上げと強化を州病院とともに、分娩時・新生児ケアの向上を図っています。

州病院研修部とは？

研修部は病院スタッフや病院実習学生向けの院内研修企画・運営・評価を担い、病院サービス全体の質を向上するために機能する院内チームで、病院内の各マネジメント・管理部門や診療科スタッフ混成で組織されています。研修部は保健省が高次レベルの病院として認定した国立病院や州病院が持つべき機能の一つとして定義されています。

カンボジアでは各州に州病院がありますが、全ての州病院が研修部を立ち上げているわけではありません。コンポンチャム州はいち早く研修部を立ち上げた州の一つで、この立ち上げを支援したのが前JICA技術協力プロジェクトである「助産能力強化を通じた母子保健改善プロジェクト(MANECA)」(2010年～2015年実施)です。本プロジェクトも、MANECAが築いた研修部強化のノウハウをスバイリエン州病院で活用しています。



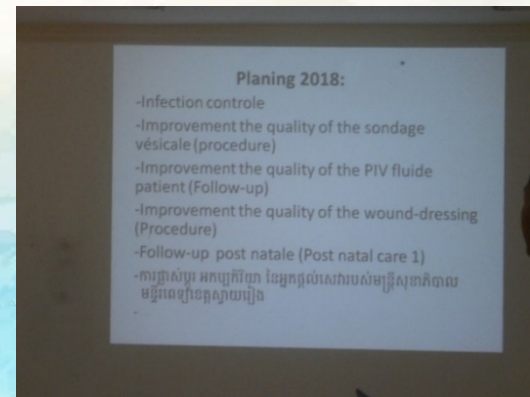
研修部立ち上げは今年8月から始まりました。本格始動に向けて研修部メンバーによる準備会議が何度も実施されてきました。



研修部のミッション、メンバーの役割分担、2018年の研修計画などの発表を行う、研修部リーダー（スバイリエン州病院副院長）。



研修部の活動を支援する日本人専門家も毎回、準備会議に出席し、プロジェクトからの支援を行っています。



研修部は、診療カテゴリにより研修をグループ化し、それぞれ代表インストラクターを任命しています。各グループごとに、インストラクターを中心に院内研修の計画が立てられています。

更に、病院長からの強い希望で、スバイリエン州研修部がコンポンチャム州研修部を訪問し、研修部の活動や運営のノウハウを学ぶスタディツアーも企画されています。スタディツアーの様子は、また後のニュースレターで報告します！